

ミニディスクロージャー誌

JAとびあ浜松の現況 2011



ごあいさつ

平成23年7月

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、JAとびあ浜松の事業に格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

JAとびあ浜松は組合員、地域の皆様方の期待に応える「地域金融機関」として、「より身近で便利、そして安心なJAバンク」を合い言葉に、地域に貢献する金融機関を目指しております。

この度、平成22年度の決算の内容をお伝えいたしますと共に、当JAの経営の健全性、JAバンクシステムの安全性をお知らせし、JA信用事業へのご理解を深めていただけますよう、このミニディスクロージャー誌を作成いたしました。

今後とも皆様のご期待に添えるよう、健全経営に努めてまいり所存でございますので、尚一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

とびあ浜松農業協同組合 経営管理委員会 会長 田端 敬一
代表理事 理事長 中野 信夫

JAとびあ浜松の概要

設立
平成7年4月1日
本店所在地
浜松市東区有玉南町
1975番地

組合員数
正組合員 23,967名
准組合員 49,633名
合計 73,600名

出資金 3,823,950千円
役員数 経営管理委員46名
理事5名 監事8名
職員数 1,459名(内パート166名)
(平成23年3月31日現在)

JAとびあ浜松の経営理念

JAとびあ浜松のめざす姿

使 命

私たちJAとびあ浜松は、組合員とその家族のみならず、広く地域住民や法人及び消費者に対し、生活・流通・金融にわたる総合事業展開を通して、質の高いサービスと商品及び自然の恵みである農産物を提供し、安心と安全、また快適で豊かな生活の実現に貢献することにより、常に時代に即した全国JAのリーダーであり、実践者であることを目指します。



経営理念

1
共生

どのような組織も、その組織が提供する商品やサービスを利用していただく方々があって初めてその存在意義があります。JAもマーケットやお客様(組合員・利用者の方々)を忘れては存在し得ません。私たちは常にマーケットやお客様と共に生きます。

2
創造

時代はいつも変化しています。JAもまたそういった変化に対応し、同時に自ら新しいものを創造していく力が求められます。農業と共に生きることを大切にしながら、常に新しいサービスやマーケットの開発をします。

3
健全

将来に向けて継続的により良いサービスの提供や商品の開発をするためには、それに投資するために必要な利益を確保していくことが大切です。JAも経済的な事業体・組織体として、永続的に適正な利益を確保できるよう、常に生産性を向上します。

4
品質

品質はJAの事業を継続的に発展させる上での基盤です。事業活動全般にわたり常に質の高い商品とサービスを提供します。

5
専門

総合事業を展開するJAは、各々の事業分野でそれぞれ特定の専門企業や組織と競争しています。私たちは総合事業を展開している強みをさらに充実させるために、各々の分野での高度な知識・技能を高めます。

6
信頼

私たちは、まわりのいろいろな関係者—組合員・利用者・地域住民・取引先・行政など—の方々との関係(ネットワーク)の中で存在しています。JAの主体性を発揮しながら、まわりの方々との関係を大切にすることが重要です。また、そういったの方々との信頼関係なくしては事業の継続的発展もありません。私たちは常にまわりの方々との信頼関係を深めます。

7
公平

私たちは、組合員や利用者の方々に対しては、常に公平な対応、満足のゆくサービスの提供をし、また、職員に対しては、自分たちの仕事に達成感・成功感を味わえるような、公平・公正な評価をします。

8
実践

自分たちの組織の運命を決めるのは、自分たちの意思・行動の選択の結果です。責任を他のものに転換しているだけでは新しいJAの未来を切り拓くことはできません。私たちひとりひとりの積極的に主体的な行動(リーダーシップ)こそが、明日のJAを創造するという当事者意識を持って日々の業務を遂行します。

JAとびあ浜松の事業

購買事業

農業生産に必要な肥料・農薬等の資材やお米等の生活用品、葬儀・法事等の取扱いも行い、サービスを提供しています。

購買品供給高 10,302百万円

販売事業

農家の皆様が生産した農畜産物を消費者の皆様にお届けしています。

販売品販売高 21,270百万円

指導事業

組合員や利用者の皆様の農業経営や生活の向上をお手伝いしています。

共済事業

病気・災害・事故等万一に備えて、生命・建物・自動車共済等、安心と保障を提供しています。

長期共済保有高 4,013,391百万円
(生命・建物)

その他の事業

農産物加工事業 資産管理事業
旅行事業 高齢者福祉事業

信用事業

貯金残高 939,608百万円
貸出金残高 217,259百万円

静岡県
信連

農林中央
金庫

安心の「JAバンク」システムです。

JAバンク
JA・信連・農林中央金庫

「JAバンク」システム

JAバンクは、貯金・ローンなど様々な金融サービスを通して皆様の暮らしをサポートします。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・静岡県信連をはじめ全国のJA・信連・農林中央金庫が実質的に1つの金融機関(JAバンク)として機能し、組合員・利用者の皆様により一層の「便利さ」と「安心」をお届けするためのシステムです。JAバンク(JA・信連・農林中央金庫)は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・利用者の皆様の生活の向上に取り組んでいます。

「安心といっしょに」あなたの身近にJAバンクがあります

豊富な資金量で安心です

(平成23年3月末現在)

- JAの貯金は全国で約85兆8千億円、県内約4兆5千億円
- JAの貸出金は全国で約22兆3千億円、県内約1兆3千億円

広がるネットワークが便利です

(平成23年3月末現在)

- JAバンクは全国に8,735店舗、静岡県下に425店舗
- CD・ATMは県内に616台

充実した金融サービスを提供しています

- 皆様のニーズに合った各種ローンをご用意
- 皆様の暮らしをサポートする多様な貯蓄商品をご用意
- 土地の活用など資産管理の相談業務も充実
- 面倒な相続や年金などに関する相談業務も充実
- 国債・投資信託の取扱い
- インターネット・モバイルバンキングの取扱い





JAとぴあ浜松の決算のあらまし



財産の状況 [貸借対照表]

資産の部

	平成21年度	平成22年度
現金	2,805	2,796
預金	673,265	688,456
有価証券	59,590	61,903
貸出金	212,274	217,259
貸倒引当金	▲1,403	▲1,483
その他資産	47,864	48,811
合計	994,396	1,017,744

負債・純資産の部

(単位:百万円)

	平成21年度	平成22年度
貯金	918,410	939,608
引当金	5,716	5,509
その他負債	15,162	15,590
(負債計)	939,289	960,708
純資産	55,106	57,035
合計	994,396	1,017,744

預金: 静岡県信連等へ預け入れて運用しています。

(注) 百万円未満を切り捨てて表示してあるため合計に不突合があります。

有価証券: 国債等を購入し運用しています。

その他資産: 土地、建物などの固定資産、未収金等の雑資産、系統機関への出資金等です。

その他負債: 借入金・未払金・仮受金等の雑負債等です。

純資産: 皆様からの出資金、利益準備金、その他利益剰余金等です。



経営成績 [損益計算書]

(単位:百万円)

	平成21年度	平成22年度
事業総利益	16,308	16,725
うち信用事業総利益	8,174	8,402
事業管理費	13,831	13,760
事業利益	2,477	2,964
経常利益	2,848	3,296
税引前当期利益	3,071	3,055
当期剰余金	2,112	2,025
当期末処分剰余金	3,095	3,037

事業総利益: 各事業収益から各事業費用を差し引いた差額の合計です。

(注) 百万円未満を切り捨てて表示してあります。

事業管理費: 人件費、業務費、諸税負担金、施設費等、労働や施設の管理に必要な費用です。

事業利益: 事業総利益から事業管理費を差し引いた差額です。

経常利益: 事業利益に受取配当金等の事業外収益を加え、支払利息等の事業外費用を差し引いた金額です。

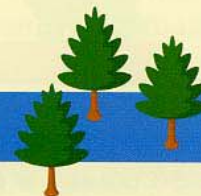
税引前当期利益: 経常利益に固定資産処分益等の特別利益を加え、固定資産処分損等の特別損失を差し引いた金額です。

当期剰余金: すべての収益から費用・損失・法人税等を差し引いた金額で一般企業の当期純利益に相当します。

当期末処分剰余金: 当期剰余金に前期繰越剰余金などを加えた金額です。



JAとぴあ浜松の健全経営チェックポイント



自己資本比率 [健全経営のバロメーター]

(単位:百万円)

自己資本額	56,619	A
リスク・アセット等 (注1)	295,462	B
自己資本比率 (注2)	19.16%	A÷B

(注1) BIS規制(自己資本比率規制)に定義された自己資本比率を計算する際の分母に用いる証券や債権などの各種資産のことを指します。

(注2) 万一、運用により損失が発生しても、自己資本が十分確保されていれば、皆様からお預かりした貯金の払戻しに不足することはありません。

つまり、この比率が高いほど安全性は高くなります。なお、当JAは国内業務金融機関の基準4%を大きく上回っています。

リスク管理債権(貸出金)の状況



平成22年度末の貸出金のうち、リスク管理債権となっているものは次のとおりです。
担保や保証機関による保証を差し引いた残りの残高については、個別または一括して評価したうえで貸倒引当金を引き当てておりますので損失の発生する可能性はほとんどありません。

(単位:百万円)

	項目	金額
リスク管理債権	破綻先債権 (A)	167
	延滞債権 (B)	2,873
	3か月以上延滞債権 (C)	—
	貸出条件緩和債権 (D)	941
	合計 (E)=(A+B+C+D)	3,982
保全措置	担保・保証による保全部分 (F)	3,341
	信用事業に係る個別貸倒引当金残高 (G)	514
	信用事業に係る一般貸倒引当金残高 (H)	723
リスク管理債権に対する保全状況		E<F+G+Hであり、保全は充実しています。

指標

リスク管理債権比率 (E÷貸出金総額)	1.83%
------------------------	-------

参考

(単位:百万円)

保全措置の合計額	4,579
リスク管理債権カバー率	115.00%

百万円未満を切り捨てて表示してあるため合計に不具合があります。

安心をささえる2つの制度



破綻未然防止システム [JAバンク独自のシステムです。]

JAバンク全体で経営の健全性を確保し、組合員・利用者の皆様に一層の「安心」をお届けします。



貯金保険制度 [国による公的制度です。]

貯金者を法律によって保護する保険制度です。(貯金には、保険がかけられています。)

対象貯金等		対象以外貯金等
当座貯金 普通貯金 別段貯金		
(注1) 決済用貯金(利息がつかない等の条件を満たす貯金)	(注2) 決済用貯金以外の貯金	その他の貯金等 定期貯金、定期積金、貯蓄貯金等
全額保護	合算して元本1,000万円までとその利息等(注3)	対象以外の貯金等 外貨貯金、譲渡性貯金等
		破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払(一部カットされることがあります。)

(注1)「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3つの条件を満たすものです。

(注2)納税準備貯金・貯金保険の対象貯金を用いた積立・財形貯蓄商品も該当します。

(注3)1,000万円を超える元本とその利息等については、破綻農水産業協同組合の財産の状況に応じて支払われますので、一部カットされることがあります。